

製品名: FKBP52 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe87097

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.55mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:52 kDa; Observed MW:52 kDa

抗原情報

遺伝子名	FKBP52
別名	HBI; p52; Hsp56; FKBP51; FKBP52; FKBP59; PPIase
遺伝子 ID	2288
SwissProt ID	Q02790
免疫原	ヒト FKBP52 の合成ペプチド

背景

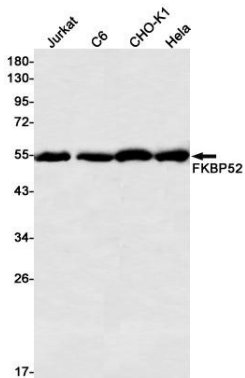
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、免疫調節およびタンパク質の折り畳みと輸送に関わる基本的な細胞プロセスにおい

で役割を果たすイムノフィリンタンパク質ファミリーのメンバーです。このコードされたタンパク質は、免疫抑制剤 FK506 およびラパマイシンに結合するシス-トランスプロリルイソメラーゼです。FK506 結合タンパク質 1A (FKBP1A) と構造的および機能的に高い類似性を有しますが、FKBP1A とは異なり、このタンパク質は FK506 と複合しても免疫抑制活性を示しません。インターフェロン調節因子 4 と相互作用し、B リンパ球および T リンパ球における免疫調節遺伝子の発現において重要な役割を果たします。このコードされたタンパク質は、フィタノイル CoA α -ヒドロキシラーゼと会合することが知られています。また、2つの熱ショックタンパク質 (hsp90 および hsp70) と会合できるため、ステロイドホルモン受容体のヘテロオリゴマー形態の細胞内輸送において役割を果たしている可能性があります。このタンパク質はアデノ随伴ウイルス 2 型ベクター (AAV) と強い相関を示し、ヒト細胞株における AAV を介した遺伝子発現を著しく増加させます。したがって、このタンパク質は、ヒト遺伝子治療における AAV ベクターの最適な使用に重要な意味を持つと考えられています。ヒトゲノムには、この遺伝子に類似した非転写性擬遺伝子が複数存在します。[RefSeq 提供、2008 年 9 月]

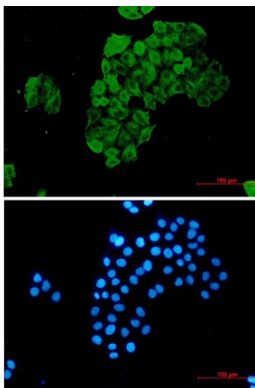
研究分野

-

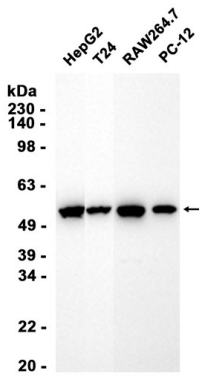
画像データ



FKBP52 抗体 (1:500 希釈) を使用した、Jurkat、C6、CHO-K1、HeLa 細胞溶解物中の FKBP52 のウエスタン ブロット検出。



AMRe87097 抗体 (緑) と DAPI (青) を使用した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。



AMRe87097 を 1:3000 で使用して、HepG2、T24、RAW264.7、PC-12 細胞抽出物のウエスタン ブロット分析を行いました。